

学校だより

おっぴ

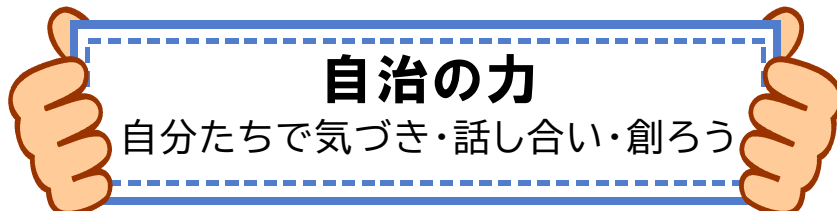
半田市立乙川東小学校

第12号

令和6年2月22日

発行責任者：福島 富美

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



2月16日に、令和6年度前期児童会役員選挙が行われました。2月に入ってから選挙運動が始まり、朝の校門であいさつをしたり、教室をまわったりして投票を呼びかけました。そして、立会演説会では、役員に立候補した理由や自分が目指す学校を具体的な言葉でわかりやすく伝えていました。どの演説も、学校生活の中で自分が気づいたことをもとに、学校がさらにみんなにとって居心地の良い場となるよう考えられたものばかりでした。4月からひとつひとつ形にしていってくれることを期待します。



立ち会い演説会

児童会は、学校の中で自治的な活動を経験する大切な場です。子どもたちは自分の気づきから考えたことを代表委員会で議論し、決定して行動していきます。独りよがりな提案では賛同を得られないこと、決まったことには責任をもたなければならないこと等、大切なことを学んでいきます。

2年前の冬、6年生の学級で「シャーペンが便利だから使いたいよね。」という声が上がりました。「そもそも、なんでシャーペン使ったらだめなの？」という疑問も生まれ学級会が開かれました。当時の担任の助言もあり、学級の中でのアンケートだけでなく、教員に意見の聞き取りも行い、その結果を学級会でまとめ、学級委員によって代表委員会にシャープペンシルの使用について提案されました。代表委員会では、様々な意見交換がなされて、翌年から6年生のシャープペンシル使用が認められたのです。

そして現在、6年生の教室をのぞくと、ほとんどの子どもたちが当たり前シャープペンシルを使っています。結局、提案した子どもたちはすぐに卒業してしまい、小学校でシャープペンシルを使う機会はなかったのかもしれませんが、その経験から得たものはかけがえのないものだったと思います。

学校は人と人が関わり合うひとつの社会です。自分たちが生活する場を自分たちで居心地良くするために、気づいたことを話し合い、良い方法を考え行動に移していく経験を子どもたちにはたくさんしてもらいたいと思います。

3学期の乙東っ子



半田市音楽会：雁宿ホールで行われ、4年生が出演しました。



感謝の会



感謝の手紙を渡しました

PTA活動 「できる時にできる人が子どもたちのために活動するPTA」

子どもたちのためにできることはないか、と考え、本年度の役員のみなさんの企画運営で2月17日(土)に漢字検定が行われました。当日は、ボランティアのPTA会員のお手伝いもあり、64名が漢字検定にチャレンジしました。

真剣に取り組む姿は、学校の教室での姿とはひと味違い、良い機会になったと思います。

こんな企画があったら良いなあ、と思うことがありましたら、どんどんお寄せください。そして、みなさんで子どもたちのために形にしていきましょう。